

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、専門学校麻生工科自動車大学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

学校関係者評価報告書

専門学校 麻生工科自動車大学校

平成29年 6月 30日

校 長 野見山 秀樹

自己点検・評価責任者

校長代行 安部 倫太郎

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 1 -
1. 学校関係者評価の目的	- 1 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 1 -
3. 学校関係者評価委員名簿	- 1 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 1 -
5. 学校関係者評価方法	- 1 -
II. 学校関係者評価内容	- 2 -
基準 1 理念・目的	- 2 -
基準 2 教育の内容	- 3 -
基準 3 教育の実施体制	- 4 -
基準 4 教育目標の達成度と教育効果	- 6 -
基準 5 学生支援	- 7 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 8 -
基準 7 社会的活動	- 9 -
基準 8 管理運営・財務(学校・各部門)	- 10 -
基準 9 管理運営・財務(本部)	- 11 -
基準10 改革・改善	- 13 -

平成28年度
(2016年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、専門学校麻生工科自動車大学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属
業界関係者	市川 利治	福岡トヨタ自動車株式会社
業界関係者	堤 直樹	福岡トヨタ自動車株式会社
業界関係者	藤田 一	ダイハツ工業株式会社
団体	下村 輝夫	ものづくり人材育成センター
高校	大和 豊	筑紫台高等学校
地域住民	村上 伸二	東比恵2丁目町内会
卒業生	時松 真秀子	
保護者	林 紀子	

※区分別、五十音順、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成29年6月22日（木）17：00 ～ 18：30

場 所：専門学校 麻生工科自動車大学校 7階 講堂

5. 学校関係者評価方法

平成28年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
- A：ほぼ達成している
- B：達成しているがやや不十分
- C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神については、校訓「無私」を麻生塾の基本価値とし教職員・学生の心のよりどころとすることを、学生便覧等に明文化して浸透を図っています。学外に対しては Web サイトで紹介しています。新任の教職員には、グループ企業研修会の際に麻生塾発祥の地に建立している「無私」の碑を見学し、その由来を説明しています。

また麻生塾では、創立当初より企業や組織に求められる人材を育成することを理念として専門教育を行ってきました。この理念は麻生塾のミッションの一部として明文化して、学内に掲示等を行っており、学外には Web サイトで紹介しています。学科の目標(育成人材像)および教育計画(カリキュラム)は文書化し、学生便覧および Web サイトで学内外に提示・公表しています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： S

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特記事項なし

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特記事項なし

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特記事項なし

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特記事項なし

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画(カリキュラムマップなど)を文書化し、学校構成員に提示・共有しているか。また各学科の教育目的は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

各学科の教育目的及び教育計画は学科別に作成・文書化し教員・学生に提示しており、学生に説明している。Web サイト、パンフレットなど適切な方法で学外に公表している。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特記事項なし

基準 2 教育の内容

項目総括

教育目標や人材育成像は各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしています。また、カリキュラムは教務会議やカリキュラム会議等で検討し体系的に編成しており、各科目間のつながりも適正です。カリキュラム作成においては、広報課から高校関係者のヒアリングを行うとともに、平成 25 年度より業界関係者・有識者などの関係者で構成される教育課程編成委員会を発足させ、同委員会の意見を参考にカリキュラム開発を行っております。

また、就職課からの業界情報を教務にフィードバックし、カリキュラム開発を行っています。教科ごとのシラバスを作成しており事前に学生に配布し、到達目標を説明しています。

授業評価は教師アンケートを実施しており、結果をフィードバックすることにより授業の改善に繋がっています。教員については学科の育成目標に向けた授業を行うことができる要件をみたしており、人材開発システムに基づきスキルの向上を図っています。成績評価・単位認定は明確に定められており学生便覧で周知しています。資格取得については、各学科で明確に定められています。

主な課題及び改善の方向性

コマシラバスは内容を充実させ、運用してまいります

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

最も重要な項目です。より高い目標に向かっていることはすばらしいと感じています。

小項目 2-1-4 昨年度 B に対し何を実施したか なぜ B 判定なのかを判るようにしてほしい。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： S

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会

に公表しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校関係者評価委員会を実施し育成人材像及びカリキュラムを作成して社会に公表している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

「教育内容評価」の重要点として、学校・学科の「育成人材像」を明確にしている。カリキュラムの文書化について修業年限分の一覧表を作成し学生にも公開している。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育課程編成委員会を実施し、各方面からの意見を取り入れカリキュラム作成に反映させている。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

各教科で半期ごとに見直しをしているが毎日のコマシラバスのチェックがされておらず、十分なコマシラバスとは言えない。内容を精査するとともに今後運用に繋げる。

中項目 2-2

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： S

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

授業アンケートを年2回以上実施し、面談及び改善項目をフィードバックし改善記録を保管している。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取組みを行なっているか。(授業改善委員会等、名称問わず)

■自己点検・評価結果： S

■コメント

チューター制度や面談等を充実させる

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

就職指導研修や教科勉強会を実施している。

中項目 2-3

業界ニーズに対応した付加的教育の取組みをしているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

インターンシップを実施して、報告書の作成・記録をしている。

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

GCB 教育、マナー教育、新聞を活用した授業を行っている。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

入学予定者に対して事前課題を与えている。入学後も随時補習を実施している。

=====

基準 3 教育の実施体制

=====

項目総括

教育環境については教育目標の達成や人材育成がスムーズに行われるように教職員を組織化しており、キックオフ会議資料に掲載しています。

学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し教職員・非常勤講師・学生に配布し周知できるようにしています。就職支援に関しては、就職課を設置し、求人検索システム・求人票・企業パンフレット・受験マニュアル・受験報告書などのツールを揃えるとともに、各学科や地域の求人に対応できる専属の就職担当者を設け、クラス担任と連携を取り就職のサポートを行っています。

学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を行い、学校生活における行事、実習の保険に加入しています。

主な課題及び改善の方向性

学校の教育理念、学科の教育目的、育成人材像に向けた教育を実施してまいります。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 3-1

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 3-1-1

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

各学科、学年に相応しい教員組織を整備している

小項目 3-1-2

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年1回講師会を実施している。また、毎日の授業報告書を担任が確認することで情報を共有している。

中項目 3-2

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 3-2-3

実習で使用する学校設備、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

施設設備の保守・管理を定期的に行ない記録している

小項目 3-2-4

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

実習場利用規定を設け周知している。

小項目 3-2-5

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

法令に従い防災設備の整備・点検を実施し、防災訓練を行なっている。

小項目 3-2-6

学生が就職に関する情報を収集でき、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

進路指導室を設け就職活動に必要な資料を備えている。

小項目 3-2-7

適用除外

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

項目総括

年度開始前に学科会議で前年度の結果や評価を考慮し、学生に関する目標設定を行い、キックオフ会議で教職員が情報共有、周知できるようにしています。

就職に関しては各学科について月ごとの目標を設定しています。内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行っています。就職担当と担当教員で毎週実施している定期会議やミーティングを開き、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行っています。学校のパンフレット・Web サイト・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで外部に対して就職実績を公表しています。

評価・成績・資格・検定・退学に関しても担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録すると共に教務会議などで教職員に共有しています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価をしているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： **S**

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

麻生塾システムに記録。成績評価を基に検証・報告を実施している。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

検定結果報告書で報告し、教務会議にて検証・改善を行っている

小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

検定結果報告書で報告し、教務会議にて検証を行っている

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

毎年設定し、事業計画書に記載している。前年度の検証を実施し、就職キックオフ等で就職スケジュールを周知している。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

毎年設定し、事業計画書に記載し共有している。

=====

基準 5 学生支援

=====

項目総括

平成28年度の求人数は440件で堅調に推移しました、内定率に関しては平成29年3月末で100%を達成しています。各種学内説明会については、平成28年度は103社の企業様にご来校いただき、学内で説明会・選考会を実施していただきました。

他に企業別面接指導や業界理解セミナー、職業理解セミナーなど企業人事担当・OB・OGを招聘し積極的に実施しました。学生相談に関してはカウンセラーが相談に応じます。学生の経済的な支援は分割納入制度や各種奨学金について学生課が行っており有効に機能しています。

主な課題及び改善の方向性

学内説明会については昨年度同様多くの企業様に御来校いただき、進路指導に大きな幅を持たせることが出来ました。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

小項目5-1-5に対するコメントで、相談件数等を入れていただきたい。

中項目 5-1

学生支援を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

定期的に個人面談や三者面談を実施し、ガイダンス記録表に記録している。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

計画的に三者面談を実施している

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

有資格者が進路指導等を実施している。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

定期的にカウンセラーが学内を訪問し、学生相談を行っている。

小項目 5-1-5

ハラスメントに関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ハラスメント委員会を設置し相談窓口を設け、学生や教職員に周知している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

奨学金制度や学校独自の学費免除制度、分納制度が確立している。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

国際交流センターと連携し、留学生受け入れ制度があり、支援を行っている。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

各クラブ活動に顧問を置き、活性化・支援を行っている。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1年後の就業状況を把握しているか。また、卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業生の就業状況を把握する仕組みがあり、卒業1年後の就業状況を把握している。また、卒業後のキャリア形成への効果を積極的に把握し、学校の教育活動にフィードバックし活用している。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

校友会の再就職斡旋希望者向けに、Webサイト等を使用して求人紹介を実施している。

小項目 5-2-11

学校情報を卒業生、保護者、高等学校等、企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

SNSやパンフレット等を定期的に更新し学校情報を知らせている。

基準 6 学生募集・受け入れ

項目総括

平成28年度は、25回のオープンキャンパスと12回の入試を実施しました。願書提出数は157名で、入学予定者数は149名となりました。平成29年度は、29回のオープンキャンパスと13回の入試を予定しています。

主な課題及び改善の方向性

これから更なる18歳人口の減少が続くため、留学生も含めた募集活動の拡大と、小中学生からクルマ好きを増やしていくような活動が必要と思われます。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

この会議を通して 安心できる学校だと思いました。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

アドミッションポリシーを公表して、学校および各学科がどのような能力や意欲を持った学生を求めているかを明らかにし、入学の際のミスマッチをなくしている。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

県内外を問わず教職員が訪問し、ガイダンス等を実施する中で進路ニーズを把握し学生募集活動に反映させている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

パンフレット、Web サイトで公表している

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集用パンフレットに明示している

小項目 6-1-5

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項等に妥当性のある学費の内訳、支払時期および金額、その他教材費等の概算の金額を明示している。

小項目 6-1-6

募集要項には入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項等に選考方法を明示して、公正かつ適切な入学者選考を行なっている。実施方法や選考基準については定期的に検証している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学科編成会議を実施し、各学科の収容定員に基づき適正に管理している。

基準 7 社会的活動

項目総括

教育ノウハウを活用した職業訓練や緊急雇用対策事業、NPO法人・ボランティア団体等への支援や職員の参加奨励、国内外からの教育施設見学受入など積極的に社会貢献を進めています。また、学生のボランティア活動は、推進委員会を設け教育内容を生かし連携を図りながら推進しています。

地域貢献への取り組みとして、小学生を学校に招いての職業体験イベントや、中学校に出向いて社会人講話などを実施しています。

主な課題及び改善の方向性

社会的活動も定着しつつあるが、さらに社会貢献を進めていきます。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

ボランティアを活発に活動させるのであれば 評価に加えるなどすれば良いかも知れません。

地域の中でも様々なボランティア活動を実施しているので情報共有しておきます。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

地域における社会活動等を年度計画を作成し 実施している。

小項目 7-1-2

学校として地域貢献を目的とした公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

企業への設備提供、地元 小中学校対象の課外授業等を実施している。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

お仕事スタジアムという職業紹介の無料イベントを企業と連携して毎年開催している

=====

基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）

=====

項目総括

麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるためにコーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの徹底に努めています。

平成25年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 8-1-1

運営会議(教務会議・部門会議等)を定期的に行ない、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校運営責任者を含めた学校運営に関わる会議を定期的に行なっている。議事録を作成し、時系列で保管している。

小項目 8-1-2

組織の職務分掌を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 各学校・各部署、職位に基づく職務分掌を明確に文書化している。文書は教職員に公開している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント 防災・防犯、非常時対策が文書化され、法令に従い防災訓練を行なっている。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

個人情報保護法に沿った規程を作成し文書化している。規程は公開して教職員に周知している。

小項目 8-1-5

ハラスメントに関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント ハラスメント委員を設置し規程を文書化し適切に運用している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

目標を達成に向けて十分機能するよう、職員の資質向上のための研修計画があり、実施している。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

中長期計画に基づいた毎年度の事業計画と予算が、関係部門の意見を集約し適切な時期に決定している。決定した事業計画と予算は速やかに関連部門に伝達している。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年度予算を適正に執行し定期的な管理を行なっている。日常的な出納業務は円滑に実施している。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

固定資産管理運用基準を設け、その基準に従って運用している。

小項目 8-2-10

適用除外

基準 9 管理運営・財務（本部）

※当項目は、当校の学校関係者評価の対象外である。

項目総括

管理・運営体制の充実、改善活動の推進、諸規程の整備などを通して、教育環境の向上を図り、教育の質を高める活動を展開している。今年度は福岡キャンパスで新校舎新設、総合図書館における図書貸出の取り組みなど、学生サービスの拡充に取り組んだ。

財務面では財務体質の健全性の確保、会計監査体制の見直し、情報公開などを推進している。

また、2016年4月の熊本地震を受けて、リスクマネジメント、建物・設備の点検、非常時の対応策などについて見直しの徹底を図っている。

主な課題及び改善の方向性

学校の特性などにより募集活動に差が出てきている。これを受けて中長期的な観点からの経営計画の見直し、および学校教育制度の変化を考慮した運営体制の見直しが必要である。短期的には各種の規程の整備や制度の充実、および情報の公開性を高める方策が喫緊の課題である。

※当項目は、当校の学校関係者評価の対象外である。

中項目 9-1

管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。

■自己点検・評価結果： A

小項目 9-1-1

運営会議(常任理事会、MM 会議、共有会議等)を定期的に行なわれ、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 常任理事会、MM 会議、共有会議を開催し、進捗の報告、課題・成果の共有を行なっている。

小項目 9-1-2

決裁規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 稟議規程を作成し運用している。組織変更にあわせた変更が必要。

小項目 9-1-3

人事関連規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。(人事考課制度、昇進・昇格制度)

■自己点検・評価結果: B

■コメント

人事考課制度、昇進昇格制度ともに策定できているが、昇進昇格制度の周知徹底に関しては更なる改善が必要。

小項目 9-1-4

賃金制度を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント 文書化し、適切に運用できているが、開示が不十分。

小項目 9-1-5

教育目的を達成するために、適切な採用制度を設けて文書化し、運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 採用規程を改定し、運用を行っている。

小項目 9-1-6

学生による授業評価活動を計画・実施し、改善を推進しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

授業アンケートを年 2 回実施し、結果の報告書を作成している。しかしながら、改善活動の実施について、学校間に差があり、解消していく必要がある。

※当項目は、当校の学校関係者評価の対象外である。

中項目 9-2

法人の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

小項目 9-2-7

教育活動を安定して遂行するために、必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 収支も予算どおりに推移しており、財政的基盤に重要な問題はない。

小項目 9-2-8

予算編成及び予算執行を適切に行ない管理しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

月次ごとに予算状況を把握しており、大きな差異について、その都度問題を把握している。

小項目 9-2-9

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告を文書等にて明示しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

今年度より個人の監査人から、監査法人へ契約変更。今後は監査法人と密に連携していく。

小項目 9-2-10

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し、公開しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

「学校の方針」に基づき、必要な事項を適切に開示している。

※当項目は、当校の学校関係者評価の対象外である。

中項目 9-3

教育環境を整備・管理し適切に運営しているか

■自己点検・評価結果: A

小項目 9-3-11

空調、防災設備等の学校設備を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 9-3-12

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 長期修繕計画にもとづき建物の管理を行なっている。

小項目 9-3-13

固定資産管理規程を文書化し、教職員に周知し、固定資産を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 文書化はしているが、部分的にしか周知はしていない。

小項目 9-3-14

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し、学校構成員に周知徹底しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 地震・火災・不審者対応マニュアル、緊急時対応フローを作成し組織化し、必要に応じて追加見直しを行なっている。

小項目 9-3-15

個人情報保護規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、日常的に啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント desknet's、ルールブックにて周知、研修を行なう予定だが、日常的な啓発活動が不足している。

小項目 9-3-16

ハラスメントに関する規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、防止のための啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント ハラスメント防止規程、防止ガイドラインを作成し、desknet's、ルールブック、研修等にて周知、啓発している。

小項目 9-3-17

図書(固定資産)管理規程を文書化し、図書を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 図書管理規程および運用規程のもと、専任職員による管理運用を行っている。
図書貸出しにむけた管理・運用規程を整備していく。

基準 10 改革・改善

項目総括

自己点検・評価委員会を組織しており、評価項目ならびに評価時期を明文化しています。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ会議等で共有する機会を設けています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

きちんとしたビジョンの下に組織は向上していくので、自己点検評価は重要ですが適切に行われていると思います。
また より実践的な人材を求められていると思いますので これからの取り組みに期待しています。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施し、改善のための年間計画を作成しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 自己点検・評価規程に基づき運用し、自己点検・評価委員会を中心として運用・改善活動を行なっている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価活動及び評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 適宜、全職員へ情報共有できる機会を設けている。

小項目 10-1-3

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

自己点検・評価は毎年実施し、内部監査終了後に改善計画を作成・実施し、結果の検証をしている。

小項目 10-1-4

自己点検・評価活動に関する内部監査を組織的に行ない、改善活動に役立てているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

計画的、組織的に内部監査を行ない、自己点検・評価に基づく改善活動を促進している。内部監査員の養成研修を行っている。

小項目 10-1-5

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトで公開しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

自己点検・評価の結果を報告書として文書化し、学校の Web サイトで公表する体制を整え実施している。